


様式第1号

平成28年6月6日

議会と語る会報告書

小諸市議会報告会運営委員長 林 稔様

議会と語る会 2班
班長 福島 鶴子 

私の班は、下記のとおり議会と語る会を開催しましたので、ご報告します。

記

- 1 開催日時 平成28年5月20日(金) 19:00～21:15
- 2 開催場所 久保公民館
- 3 出席議員 14名(担当班9名+サポート4名・副議長)
- 4 参加人数 36名
- 5 報告書への質疑・意見・要望・応答要旨
市政に関すること。 無
議会に関すること。 無

6 意見交換の内容 要旨

テーマ 学校改築

(1) 市政に関すること

項目	課題	解決策
児童数が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模学校のメリットデメリットをどう考えるか ・保護者の負担 	児童生徒の声を聞く 財政負担の解消策（地元負担も） 地域にとってどうかを考える 特色ある学校づくりの推進 市のバスが活用出来るように。 （社会見学等に）
学校の統合	<ul style="list-style-type: none"> ・ますますの地域の衰退 	通学区の見直し 市内全体の学校の在り方検討 （全体2校・小中一貫） 少子化対策の強化（移住・定住促進） 山村留学の誘致 合意形成は時間を掛け、未来の世代を育てる事での合意が必要。
空き教室	<ul style="list-style-type: none"> ・活用方法の検討 	地域に不足する公共的施設の誘致 地域コミュニティーの中心にする 特区制度を活用して有効活用を考える 学校施設の複合活用（学校・図書館・公民館・老健施設）
通学	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全確保 ・公共交通利用の公平性 （バス通学の認定基準） ・自家用車送迎が多い 	通学路の拡幅・歩道の設置 防犯灯の間隔の短縮 樹木の伐採・落石対応（ネット） グリーンベルトの設置 保護者意見・児童の実態の把握 安全通学への対応を進める コミュニティーバス路線対応

学校給食	・ 自校方式の維持	
地域との関係	・ 学校と地域との良い関係	地域行事に子どもの参加 学校行事に地域住民の参加 地域と学校が一体となった行事 地域の『子供の見守り』 田園地域を活かした学校誘致 (例・農業女子大学校等)
その他	・ 学校施設の現状 (プール)	

テーマ 公共交通

項目	課題	解決策
利用・活用	・ 利用者が少ない	実態把握 行政・具体例を示しPR・ お試しチケット 個人・お試して試乗する。 地域の産業や施設との連携で 利用者増を考える 予約にフリーダイヤルの導入
	・ 利便性の問題	便数を増やす 車両の小型化でドア・ドアの実現 日曜日の運行 システムを簡易にする(予約) 公共交通難地区を作らない コールセンターと運転手の連携改善 イベント時の特別運行
学校・ 保育園との関係	・ 利用者の時間帯に合わない	・ 連携を密にし、学校の時間 帯に合わせた便の運航 ^行
その他	・ 区全体の人口減少	公共交通利用実態からの人口増加 ^対 策 の検討